

世界禁煙デーに向けて

2024年5月22日 東京都医師会記者会見
副会長 蓮沼 剛



東京都医師会が考える重点医療政策

1. 新たな感染症対策と医療提供体制の充実
2. 禁煙推進のための施策の充実
3. 社会構造の変化を見据えた在宅療養者・施設入所者への医療ケア提供体制の充実
4. フレイル対策等健康寿命の延伸に関する取り組みの充実
5. 生涯を支える保健・医療の充実
6. パンデミックや地球温暖化に伴いさらにひっ迫すると思われる救急災害医療のさらなる充実
7. 在留及び訪日外国人に対する医療提供体制整備の推進
8. 医療DXの推進・東京総合医療ネットワークのさらなる充実と医師の働き方改革を踏まえた救急現場の負担軽減
9. 民間病院を支援する部門の創設
10. 病院現場への物価高騰に関する支援

禁煙推進のための施策の充実

高齢化が進む日本では、健康寿命の延伸が大きな社会問題となっています。

そのために絶対に欠かせないのが、タバコによる健康被害の防止です。喫煙に対して手を打たない限り、健康寿命を延ばすことはできません。5月31日の「世界禁煙デー」では、毎年全国各地で禁煙及び受動喫煙防止の普及啓発活動が積極的に行なわれます。

東京都においても、**東京中をイエローグリーンに染め上げる一大イベント**となるよう、「世界禁煙デー」への支援と協力を要望します。

東京都医師会におけるタバコ対策の歴史

- 2011年10月 6日 第1回タバコ対策委員会開催
- 2013年 4月 1日 東京都医師会 禁煙宣言
[禁煙推進のための行動指針]
- 2018年 5月18日 「東京都受動喫煙防止条例（仮称）に関する賛同署名」を小池知事に提出
- 2018年 6月27日 東京都議会にて「東京都受動喫煙防止条例」可決・成立
- 2020年 4月 1日 「東京都受動喫煙防止条例」が全面施行

「健康都市東京 ―生活習慣における禁煙―」



子
インタラクティブセッション

第2部はパネル
ディスカッション。村松弘康都
医タバコ対策委員
会委員長は、ウサ
ギの耳の毛細血管
がタバコの煙で収
縮し血行障害が生
じる場面や、喫煙
後も5分間吐息に
タバコの煙が排出
される様子を印象
的な動画で提示
し、タバコの害を
説いた。

原田正平 国立
成育医療研究セン



パネルディスカッション

2月21日（日）、イイノ
ホールで都民公開講座が開
催された。

尾崎会長は開会挨拶の中で
「健康寿命は平均寿命より10
年短い。健康寿命を延ばすに
は生活習慣を改善しなければ
ならない。とくにタバコ対策
は大切。喫煙者の禁煙はもと
より、受動喫煙も減らさなけ
ればならない。2020年の
東京オリンピックに、はたし
て東京は煙のない街として客
を迎えることができるのか。健
康都市東京をつくるのは都
民の皆さん。日常生活の中で

部長によるインタラクティブ
セッション。日本では毎年13
万人が喫煙で、6800人が
受動喫煙で亡くなる。喫煙者
は余命が10年短縮する。しか
し、40歳までに禁煙すれば非
喫煙者の余命に戻る。日本の
喫煙率は20%で下げ止まって
いる。さらに下げるにはタバ
コ広告禁止・タバコ税値上げ
と、禁煙環境を増やすことが
必要である。がんセンターで
は、生涯タバコを吸わない世
代を育てるために「タバコフ
リーキッズジャパン」を各地
で開催している。



尾崎会長

さまざまな角度からタバコの害を解説

何ができるのか考
える機会にしてい
ただきたい」と述
べた。

第1部は、望月
友美子 国立がん
研究センターがん
対策情報センター
たばこ政策支援部

え歌「死（止）期の歌」を
人工喉頭を用いて披露し、会
場に笑いと感動をもたら
した。

♪タバコをやめない人はたま
されやすい人
毒を薬とすすめられてもう
たがわぬ人
♪タバコをやめない人はまご
ころしらぬ人
健康気づかう愛の言葉に聞
く耳持たぬ人
♪タバコをやめない人はまわ
りが見えぬ人
きたない煙をまき散らして
もしらぬ人

医師とげぬき地蔵尊高岩
寺住職でもある来馬明規氏
は、禁煙マークを刺繍した法
衣姿で登場し、教科書にも
載っている『四季の歌』の替
愛の人

都民公開講座

2016年2月21日開催

「健康寿命は平均寿命より10
年短い。健康寿命を延ばすに
は生活習慣を改善しなければ
ならない。2020年の東京オリ
ンピックに、はたして東京は
煙のない街として客を迎える
ことができるのか。健康都市
東京をつくるのは都民の皆さん。
日常生活の中で何ができる
のか考える機会にしていた
だきたい」。

（都医ニュース2016年4月15日）

東京都子どもを受動喫煙から守る条例 2018年4月1日施行

「東京都子どもを受動喫煙から守る条例」とは

たばこの煙は、たばこを吸う人だけでなく、周囲の人の生命及び健康にも悪影響を及ぼすことが明らかとなっています。

とりわけ子どもについては、受動喫煙による健康への影響が大きく、自らの意思で受動喫煙を避けることが難しいため、東京都は「東京都子どもを受動喫煙から守る条例」を制定しました。



東京都受動喫煙防止条例(仮称)に関する署名活動



白衣での署名活動に注目が集まる

3月2日(金)の東京都医師会定例会記者会見にて尾崎治夫会長より、「東京都受動喫煙防止条例(仮称)に関する署名活動」を4月より開始する旨の発表があった。その後、東京都医師会のウェブサイトにおいて、尾崎治夫東京都医師会会長、山崎一男東京都三師会からも多数の役員の参



JR有楽町駅前で啓発チラシを配布

科医師会会長、石垣栄一東京都薬剤師会会長、山元恵子東京都看護協会会長の四師会会長の連名にて、全国民を対象とする受動喫煙防止条例(仮称)に関する賛同署名のお願いが公表され、地区医師会をはじめ、関係各方面に通知された。4月8日(日)午後1時より午後3時まで、今回の署名活動でさらに多くの国民に周知する目的で、JR有楽町駅において、初めての東京都四師会合同による署名活動が盛大に開催された。都医からは尾崎会長、猪口正孝副会長、角田徹副会長、平川博之副会長をはじめ、多数の役職員、都医タバコ対策委員会が参加し、他の三師会からも多数の役員の参

加があった。

案では、100平方メートル以下の既存の飲食店は喫煙可能とするなど、適用除外が広すぎると疑問の声もあがっている。受動喫煙防止対策をより一層推進していくため、原則屋内全面禁煙をより徹底し、利用客と働く人を受動喫煙から守る、都民の健康を守る条例が必要である。今回集められた署名は、6月に開かれる都議会を前に東京都知事に要望書とともに提出する予定である。



署名活動に参加した東京都四師会



東京都四師会が初の合同実施

東京都受動喫煙防止条例に関する署名活動

2018年4月8日、JR有楽町駅前において、初めての東京都四師会合同による署名活動が盛大に開催された。

繁華街の駅前に出現した白衣の集団は、休日を楽しむ市民からかなり注目を集め、事前に準備した1000枚におよび啓発チラシはすみやかに配布を終了した。

(都医ニュース2018年5月15日)



2018年5月18日、本会を含む東京都の医療4団体（医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会）の会長が小池都知事を訪問し、要望書とこれまでに集まった署名196,458筆（署名用紙：183,905筆、電子署名：12,553筆）を提出し、受動喫煙防止対策を強化する実効性のある条例の制定を要望

禁煙推進企業コンソーシアム

2024年5月19日現在、37の企業・団体が加盟

企業においては「健康企業」が注目を浴び、国の後押しもあって社員の健康を増進し、疾病予防に力を入れる企業が多くみられるようになってきている。

禁煙推進企業とは、経営責任者自らが社員の禁煙をサポートする企業

社内禁煙や社員の禁煙を後押しするためには、企業がお互いに情報交換しながら競っていくことが大切

コンソーシアムを立ち上げることに

禁煙推進企業コンソーシアム



禁煙推進を宣言する「AGREEポーズ」での記念撮影（2019/04/18）

2024年世界禁煙デーイベント

「健康行動と禁煙推進を先進事例から考える ～医学エビデンスから企業事例まで～」

日時：2024年5月31日（金）

《第1部》14時00分～15時00分

《第2部》15時10分～16時40分

《第3部》16時40分～17時00分

場所：東京都医師会館（東京都千代田区神田駿河台2-5）

対象：医療関係者／自治体関係者／報道関係者／健康経営・禁煙推進担当者

主催：公益社団法人 東京都医師会、禁煙推進企業コンソーシアム

2024年世界禁煙デーイベント

「健康行動と禁煙推進を先進事例から考える ～医学エビデンスから企業事例まで～」

【イベント内容】

《第1部》

時刻	時間	プログラム	登壇者
第1部 東京都医師会メイン ～タバコの煙から身を守る取り組みを知ろう！～			
14:00～15:00（60分） 対象者（医師／関係団体／企業／報道機関）			
14:00～14:02	2	本イベントのアジェンダの趣旨とアジェンダ	蓮沼副会長（座長） 鳥居理事（司会）
14:02～14:12	10	主催者挨拶（本イベントの主旨説明含む）	東京都医師会 会長 尾崎治夫
14:12～14:22	10	東京都医師会 セッション1 「加熱式タバコの本当のリスク」	東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生学専攻 公衆衛生学分野准教授 田淵貴大（東京都医師会タバコ対策委員会委員）
14:22～14:32	10	東京都医師会 セッション2 「関係団体と連携した調布市受動喫煙防止条例の取組」	調布市福祉健康部健康推進課
14:32～14:58	26	東京都医師会 セッション3 ※各団体でのタバコ対策の取組紹介	各団体から1名 ・東京都歯科医師会 ・東京都薬剤師会 ・東京都看護協会 ・東京都養護教諭研究会 ・メディア ・禁煙推進企業コンソーシアム ・東京都保健医療局
14:58～15:00	2	第一部終了の案内	
15:00～15:10	10	休憩（時間調整）	

2024年世界禁煙デーイベント

「健康行動と禁煙推進を先進事例から考える ～医学エビデンスから企業事例まで～」

【イベント内容】

《第2部》

時刻	時間	プログラム	登壇者
第2部 禁煙推進企業コンソーシアムメイン 健康行動と禁煙推進を先進事例から考える(90分) 15:10～16:40 対象者（経営者／医師（産業医含む）／報道機関／人事部）			
15:10～15:13	3	第2部の案内と禁煙推進企業コンソーシアムの簡易紹介	司会：禁煙コンソーシアム 米田
15:13～15:36	23	【マネジメント側によるプレゼンテーション】 ※動画視聴（各企業の役員からの宣言内容をVTRで紹介：5分以内） ※この内容はプレスリリースにも連動をする予定です。 自社の人事戦略の位置づけ(1社7分×3社) 宣言内容を登壇者（役員）に解説してもらう ・人事部としての苦労や大切にしているポイント・人事戦略について ・経営者が宣言する重要性 ・何故、自社がこの宣言内容にしているのか	■プレゼン参加企業 ・アフラック様（役員） ・ひまわり生命様（役員） ・資生堂様（グループマネージャー）
15:36～16:23	37	【産業医／保健師・看護師含む禁煙推進担当者の事例発表】 協賛企業を中心にして、担当者が1社5分でピッチプレゼン ■事例の中でも広く話したほうが良い施策を考える	■参加企業（6社） -資生堂 -アフラック -ジョンソンエンドジョンソン -住友ファーマ -オートバックス（仮） -エムステージ（仮）
16:23～16:38	15	【施策の深堀コーナー】 禁煙コンソーシアム（事務局）が、上記事例発表に関して解説 ■各施策の中での【健康行動／禁煙風土作り】については是非導入していただきたいポイントを整理して話す。 ※視聴企業が自社で取組実施をしやすいようにする	■参加企業 協賛企業が代表して話す（要調整） ■ファシリテーター ・ファシリテーター 事務局米田
16:38～16:40	2	第2部のまとめと閉会	司会（事務局）

2024年世界禁煙デーイベント

「健康行動と禁煙推進を先進事例から考える ～医学エビデンスから企業事例まで～」

【イベント内容】

《第3部》

時刻	時間	プログラム	登壇者
第3部 本日のまとめ 時間が無かった人向け 本日の重要なポイント総まとめ 16:40～17:00(20分) 対象者：全員			
16:40～16:58	18	禁煙コンソーシアム紹介と本日の総まとめ ～第1部～2部の講演のポイントを総おさらい～	・司会 ・東京都医師会タバコ対策委員会 委員長 荒井敏
16:58～17:00	2	司会者閉会	事務局（米田）

都内施設のライトアップ

東京都と共同で東京スカイツリー®をはじめとする都内施設を、受動喫煙防止のシンボルカラーであるイエローグリーンに染め上げます。

世界禁煙デー 5月31日（金曜日）

東京スカイツリー

隅田川橋梁群（白鬚橋、吾妻橋、駒形橋、厩橋、蔵前橋、清洲橋、永代橋、佃大橋、勝鬨橋、築地大橋）

自由の女神像（台場）

ゆりかもめ新橋駅

都内施設のライトアップ

東京都と共同で東京スカイツリー®をはじめとする都内施設を、受動喫煙防止のシンボルカラーであるイエローグリーンに染め上げます。

禁煙週間 5月31日（金曜日）から6月6日（木曜日）まで

都庁第一本庁舎

東京芸術劇場

東京体育館

駒沢オリンピック公園総合運動場

渋谷ヒカリエ

味の素スタジアム

都内施設のライトアップ

都内施設の例（東京都提供）



都内医師会館等のライトアップ

東京都医師会および都内地区医師会でも会館等を、
受動喫煙防止のシンボルカラーであるイエローグリーンに染め上げます。

世界禁煙デーあるいは禁煙週間中

東京都医師会館

大森医師会館

葛飾区医師会館

調布市医師会館

世田谷区医師会館

日野市医師会館

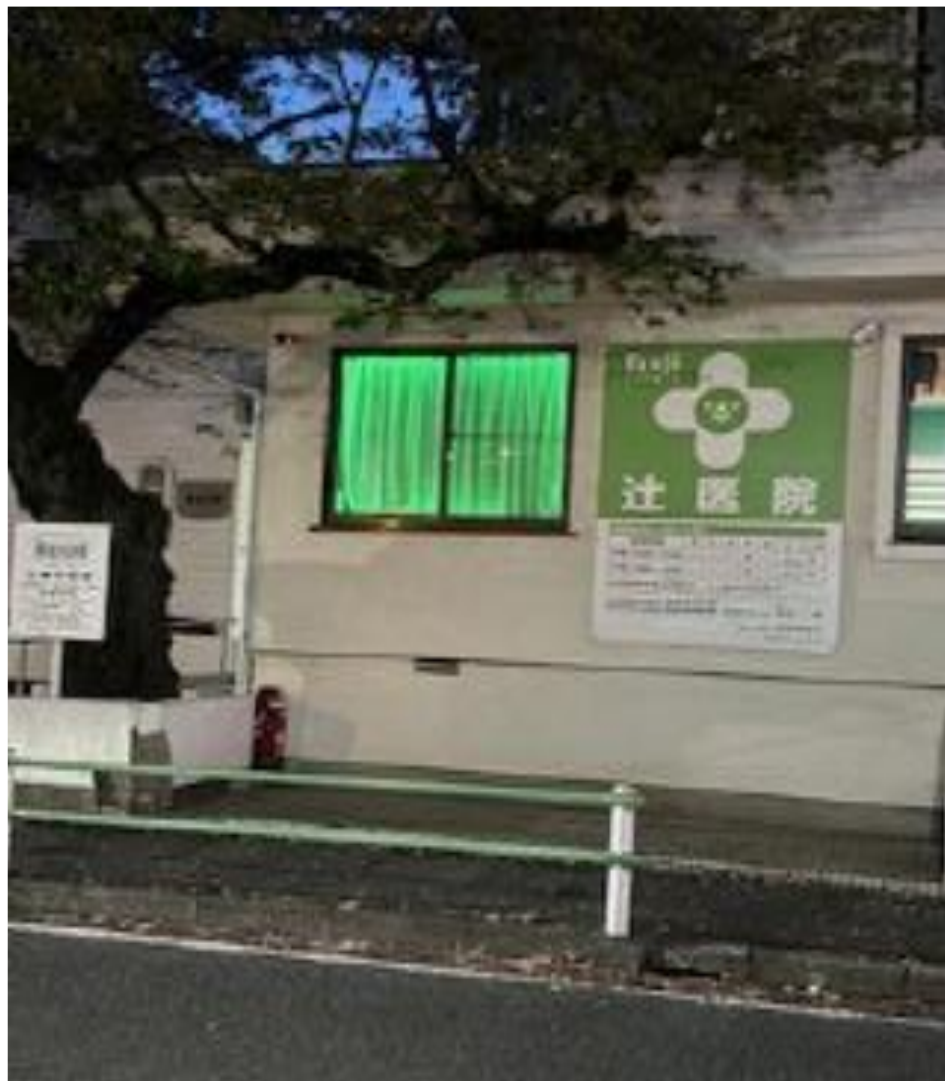
玉川医師会館

都内医師会館のライトアップ

東京都医師会および都内地区医師会でも会館及び医療機関を、受動喫煙防止のシンボルカラーであるイエローグリーンに染め上げます。（玉川医師会館の例）



都内医師会館のライトアップ



東京都医師会タバコ対策委員長
荒井敏医師（辻医院）の例。